

相 撲

1 期 日	7月27日
2 会 場	8:15 監督会議 9:00 開始式 9:20 競技開始 宇佐市総合運動場 相撲場

- 3 参加制限 (1) 団体戦 : 学校単位で編成された郡市代表チームとする。但し、同一校1チームのみとする。
各郡市の代表は、
中津市3 豊後高田市2 宇佐市3 別府市2
大分市4 佐伯市4 日田市3
その他の郡市が新しく参加する場合は1チームとする。
: 監督1名、コーチ1名、選手3名、交代選手2名、合計7名以内とする。
: 団体戦出場チームの選手が2名の場合は先鋒と大将とする。
- (2) 個人戦 : 団体戦に出場する選手全員と各郡市個人代表5名以内とする。
- (3) 学校単位で編成されたチーム以外の選手は、オープン競技として郡市対抗団体戦を行なう。
(個人戦のみに出場した選手による編成)
- (4) 監督は出場校の教職員とし、教職員以外のコーチは校長の認めた者とする。
- 4 競技規則 (1) 日本相撲連盟競技会規程・日本相撲連盟審判規程及び審判規程補則を適用する。
①土俵上での礼は立札とし、立ち合いは必ず両手をついて立つこと。
②「立ち合い」は選手双方が両手をつき静止した後、主審の「ハッケヨイ」の掛け声により行う。
また、両手をつく位置は、仕切線の後ろとする。
③「禁じ技」及び「危険な組手」に留意すること。
・「禁じ技」とは、反り技、かわず掛け、さば折り、極め出し、極め倒しをいう。
・「危険な組手」とは、脇に入った相手の首を極めること、後頭部を相手の腹部につけること、鴨の入首をいう。
- 5 競技方法 (1) 団体戦 : 予選リーグ、決勝トーナメント方式で行う。ただし、オープン競技として個人戦のみの出場者による団体戦を行なう。(参加状況により中止することもありうる。
・予選リーグにおいて勝数・得点が同じ場合は、同点決勝を行う。
(2) 男子個人戦: 出場全選手によるトーナメント方式で行う。
女子個人戦: 出場全選手によるトーナメント方式、もしくはリーグ戦を行う。
- 6 備 考 (1) 各選手は学校名入りゼッケンを必ずつけること。(下図参照)
・ゼッケンの寸法は25×15cm
(2) 申し込み後のオーダー変更は認めない。
(3) 指導事項として、男子選手は、まわしの下には何もつけないことを原則とする。
(4) 審判は、相撲連盟審判員・各郡市中学校教師(引率教師を含む)が行う。
(5) 九州大会出場資格は、団体優勝・準優勝校及び個人1～3位(4名)の者に与える。ただし、団体戦の選手においては、県体に出場した者とする。尚、ケガ・病気等で欠員の場合は検討する。
(6) 本年度全国大会(大分大会)の出場資格において、団体の部は団体優勝校+開催地(宇佐市総体予選優勝チーム)に与える。
※不参加の都道府県があった場合は、次の順位の学校に出場権を与える。
(7) 本年度全国大会(大分大会)の出場資格において、個人の部は3名+開催地出場枠があるため個人1～3位の者(4名)に与える。
(8) 大会参加にあたっては、郡市代表選手としてふさわしい服装、身なり、行動を心がける。状況(染髪・眉剃り・装身具等)に応じては大会参加を認めない。
(9) マナーチェックについては、大会当日の受付時に選手全員参加し、監督とともにチェックを受ける。
(10) 本年度も、女子の部・個人戦をオープン参加として実施する。女子選手の服装については、レオタードを着用し、その上にまわしを着用する。

